

中間考査が来週から始まります。今年度初の定期考査です。気を引き締めて準備をしましょう。

王子総合高校生の学習について

以下の表は4月に実施したスタディサポートの学習状況調査の内容です。平日の学習時間になります。

	3年		2年		1年	
	今回(%)	全国(%)	今回(%)	全国(%)	今回(%)	全国(%)
ほとんどしない	61.2	26.1	68.4	31.8	28.2	16.4
30分	15.5	14.7	19.2	19.7	20.6	15.7
1時間	8.7	17.1	7.3	19.5	25.2	20.2
1時間30分	3.4	11.5	1.7	11.8	9.2	12.9
2時間	5.8	16.5	2.1	11.8	9.7	18.1
3時間	2.9	9.7	0.4	4.2	5.0	10.9
4時間	0.5	2.8	0.9	0.7	1.3	3.8
5時間	0.0	1.1	0.0	0.2	0.0	1.4
6時間以上	1.0	0.4	0.0	0.1	0.4	0.3

全年次について言えることですが、**学習時間が少なすぎます！**

ただ、一部の生徒たちは全国を上回る勉強時間をしていることが分かります。3年次の6時間以上・2年次の4時間以上・1年次の6時間以上は全体平均を上回っています。

王子総合高校生の特徴として、「**どんどん勉強しなくなる**」ということが挙げられます。1年生の「ほとんどしない」は28.2%なのに対して、2年生になると2倍以上に増えています。全国的に2年生になると勉強しなくなるのは見て取れますが、その数値の上がり具合がひどい状況です・・・

以下のサイトでは、東洋大学に合格するための受験勉強の時間の例を載せてくれています。高校1年生から受験勉強を開始すると、一日の勉強時間は「30分」から始めれば大丈夫であると考えています。しかし、1年生の間に年間300時間の勉強をさぼってしまうと、2年生での学習時間は900時間に増え、一日最低90分の受験勉強となります。勉強の借金がどんどんたまっていってしまいます・・・

2年生でも学習時間が「ほとんどしない」のままだと、3年生で1800時間の受験勉強となり、かなり厳しい状況に陥ってしまいます。勉強の借金の返済ができなくなるかもしれません・・・

受験勉強に「早すぎる」ということはありません。1年生の今からでも英語を勉強し、英検を取得すれば、有利に働くこともあります。<https://school-plus.org/nittokomasen/>



中間考査1週間前

年間5回ある定期考査の1回ですから、**成績の1/5が5月の中間考査で決まってしまう可能性があります。**

1年次の1学期中間考査も2年次の1学期中間考査も人生で一度きりです。「次頑張ればいいや」という気持ちで臨まないでください。

まずは、「今日」少しでもいいので定期考査に向けた準備をしてみましょう。先延ばしにする習慣を今すぐやめるだけで、今後の高校生活は大きく変わります。

これから中間考査までの授業中に、復習や出題ポイントを説明して下さる先生がたくさんいます。プリント・ノートの整理が出来ていない人はすぐに始めて下さい。これからの授業に集中して参加し、聞き漏らすことの無いよう注意しましょう。すぐに考査むけの学習を始めましょう！

📎 学費について

令和5年度 私立大学入学者に係る初年度学生納付金等平均額（定員1人当たり）の調査結果について 文部科学省 より

進学には多額のお金がかかることは、皆さんは知っていますね。では、金額でいうとどのくらいかかるのでしょうか。右の表は進学後の1年目にかかる費用です。
専門学校は実習の多い学校は費用が高くなる傾向にあります。
学費の安さで進学先を考えることはやめましょう。

学部系統	入学金	授業料	設備費等	合計
国立大学	282,000	535,800		817,800
首都大学東京(都内出身者)	141,000	520,800		661,800
私立大学(文科学系)	223,867	827,135	143,838	1,194,841
私立大学(理科学系)	234,756	1,162,738	132,956	1,530,451
私立大学(医歯学部)	1,077,425	2,863,713	880,566	4,821,704
私立大学(その他)	251,164	977,635	231,743	1,460,542
専門学校(平均)	178,000	736,000	372,000	1,286,000

📎 奨学金について

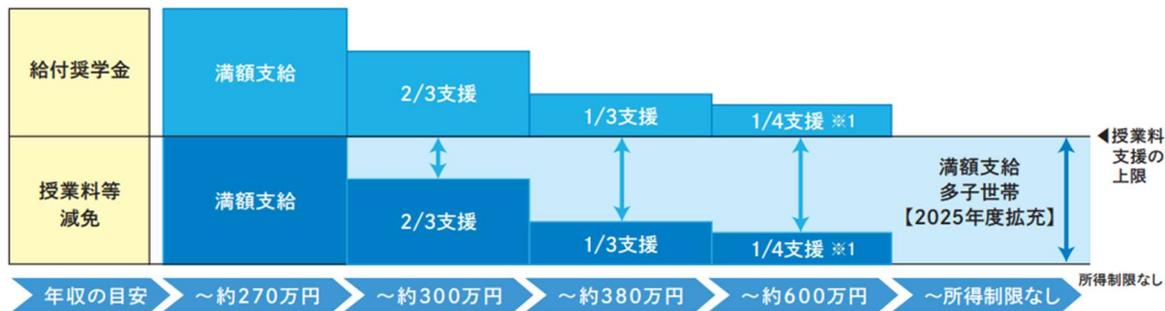
令和5年度/昼間部/東京都専修学校各種学校協会調査統計部調べより

日本全体で一番多く利用されているのが日本学生支援機構の奨学金制度です。昼間部に通う大学生の55%が借りています。(日本学生支援機構の「令和4年度 学生生活調査」)多くの生徒は予約を行います。進学後に申請することも出来ます。多子世帯は条件によっては授業料免除が発生します。

また、各家庭の収入によって、支援額が変わります。※下の図は、リーフレットの一部分です。

世帯収入に応じて段階的に支援します

世帯収入に応じて、サポートする基準が3段階に分かれます。(2025年度より、多子世帯の学生へ支援を拡大します。)



※1 第IV区分については、

- ・多子世帯の場合に、給付奨学金(支援上限額1/4)及び授業料等減免(支援上限額まで)
- ・私立学校理工農系学部の場合に、給付奨学金の支給はありませんが、授業料等減免(支援上限額の1/3あるいは1/4)の支援が受けられます。

実際には多様な家族構成があり、基準を満たす世帯年収はそれにより異なります。

支援の対象となりそうかどうか、進学資金シミュレーター(<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>)で調べてみましょう。

多子世帯支援とは？

扶養する子供の数が3人以上である世帯が対象となります。(住民税上の扶養する子供の数が3人以上いる間、第1子から支援) 授業料・入学金は所得制限なく上限額まで支援が受けられ、給付奨学金は所得に応じた支援区分(第I区分～第IV区分)の金額が支給されます。



どのような場合に
対象となるかなど
詳細はこちら



奨学金は進学してから貸与が始まるので、入学金の支払い等には間に合いません。
入学金等の支払いには、「国の教育ローン」や区のローンを利用する方法もあります。

日本学生支援機構の奨学金制度も国のローンも、「お金を借りる」わけですから、必ず返す必要があります。他に、**大学独自の奨学金**や**地方公共団体の奨学金**や**企業からの奨学金**もありますので、よく調べておきましょう。

企業からの奨学金代理返済なども日本学生支援機構がまとめてくれています。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kigyoshien/index.html>



大学ごとの奨学金・地方公共団体の奨学金についても、日本学生支援機構がまとめてくれています。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/dantaiseido/index.html>

ここに載っていないだけで多くの企業が奨学金制度を導入しています。

例 IMSグループ 月額5万円 IMSグループでの勤務が条件 (看護師)

自分の希望職種にそのような奨学金返済支援があるかどうかは調べてみましょう。



他団体からの高校生向けの奨学金案内は各年次の廊下に張り出しますので、確認してください。